

<特集「所有・存在表現」>

## バスク語の所有・存在表現 Possessive and existential constructions in Basque

石塚 政行<sup>1</sup>, 吉成 奏慧<sup>2</sup>  
Masayuki Ishizuka, Kanae Yoshinari

1 東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

2 東京外国語大学言語文化学部

School of Language and Culture Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿は、『語学研究所論集』第 18 号 (2013, 東京外国語大学) の特集「所有・存在表現」におけるアンケート項目に対するバスク語のデータ, その簡単な解説およびコメントを提供する.

**Abstract:** This document provides Basque language data for the questionnaire from the featured theme “Possessive and existential constructions” in the *Journal of the Institute of Language Research* No. 18 (2013, Tokyo University of Foreign Studies), along with brief explanations and comments.

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002000377>

**キーワード:** 所有 存在 バスク語

**Keywords:** Possesives, Existentials, Basque

### 1. はじめに

本稿のデータは、『語学研究所論集』第 18 号の特集「所有・存在表現」の調査項目を, スペインバスク地方ビスカヤ州出身のバスク語標準語 (ビスカヤ方言の影響あり) の話者の方 (1990 年生まれ) にスペイン語から訳していただいたものである. 媒介言語としてのスペイン語の文については, 本論集の特集データのスペイン語のものを用いたのでそちらを参照されたい.

### 2. データおよびコメント

以下, データを調査項目ごとに提示し, コンサルタントおよび石塚のコメントを付す. 「C:」から始まるコンサルタントによる注記は, 話者が英語で書いてくださったものを吉成が日本語に訳し, 石塚が適宜編集したものである. 「MI:」から始まる注記は石塚のものである. 各節冒頭には調査項目の日本語原文を掲げた. バスク語文の日本語訳は, 原文と文意が異なる場合のみ明記した.



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します.  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

## 2.1. 身体部位 (1)

「あの人は青い目をしている」

- (1) *Pertsona horr-ek begi urdin-ak d-it-u.*  
 person that(MED)SG-ERG eye blue-PL.ABS PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]

MI: 所有動詞 *izan* ‘have’ が用いられている。以下この動詞には一貫して ‘have’ のグロスを振る。

「青い目の人・目が青い人」

- (2) a. *begi urdin-dun pertson-a*  
 eye blue-PROP person-SG[ABS]  
 b. *pertsona begi urdin-dun-a*  
 person eye blue-PROP-SG[ABS]

MI: いずれでも所有接辞 (propriative) の *-dun* が用いられている。この接辞は被所有物を表す名詞句の最後の語に付き、「～を持っている」の意味の形容詞句を作る。通常の形容詞は被修飾名詞に後置されるが、所有接辞によって派生された形容詞句は (2a) のように被修飾名詞に前置することも、(2b) のように後置することもできる。

## 2.2. 身体部位 (2)

「あの女 {は/の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている」

- (3) a. *Emakume horr-ek ile luze-a d-u.*  
 woman that(MED)SG-ERG hair long-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]  
 b. *Emakume-k[sic] horr-ek ile-a luze-a d-u.*  
 woman-? that(MED)SG-ERG hair-SG[ABS] long-sg[abs] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (3a) は (1) と同様の所有文。(3b) は石塚 (2022) が所有コピュラ文と呼ぶ特別な構造である。 *ilea* 「髪」が所有動詞の目的語で、 *luzea* 「長い」はその目的語に対する二次述語になっている。なお、恒常的な関係を表す所有コピュラ文は、他の所有物との対比があると言いやすくなる。たとえば、(3b) は「彼女は髪は長い」のような日本語に対応する。なお、未確認ではあるが、(3b) *emakume-k* は明らかに *emakume* の誤りと思われる。

「長い髪の女・髪の長い女」

- (4) a. *ile luze-dun emakume-a*  
 hair long-PROP woman-SG[ABS]  
 b. *emakume ile luze-dun-a*  
 woman hair long-PROP-SG[ABS]

MI: (2) 同様の所有接辞の例.

### 2.3. 非普通所有物

「あの人には髭がある」

- (5) *Petsona horr-ek            bizarr-a            d-u.*  
person that(MED)SG-ERG beard-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「髭の男」

- (6) *gizon bizar-dun-a*  
man beard-PROP-SG[ABS]

MI: (2) と同様の所有接辞による表現.

### 2.4. 慣用句的表現

「あの人には (見る) 目がある」「見る目のある人」

C: 該当表現はない.

### 2.5. 側面語のある表現 (1)

「あの人は 22 歳だ」

- (7) *Horr-ek            22 urte            d-it-u*  
that(MED)SG-ERG 22 year[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) 同様の所有文.

「22 歳の人」

- (8) *22 urte-ko    pertson-a*  
22 year-QUAL person-SG[ABS]

MI: *-ko* は性質接辞として分析している. 性質接辞は, 22 urte 「22 歳 (の年)」のような側面, または *sudur handi* 「大きな鼻」のような部分を表す名詞句に付加されて, そのような特徴を持つという意味の連体修飾句を形成する. 位置属格の *-ko* と同形だが, 形態論が異なる. このアンケートの結果の範囲では, 側面語は性質接辞, 部分名詞は所有接辞という使い分けが見られる. なお, de Rijk (2006: 94ff.) はこれを共格の連体形から共格接辞が削除されたものと分析している.

## 2.6. 側面語のある表現 (2)

「あの人は優しい性格だ」

- (9) *Pertsona horr-ek            izaera    atsegin-a    d-u.*  
 person    that(MED)SG-ERG character kind-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「優しい性格の人」

- (10) *izaera    atsegin-eko pertson-a*  
 character kind-QUAL person-SG[ABS]

MI: (8) と同様の性質接辞の表現.

## 2.7. 側面語のある表現 (3)

「あの人は背が高い」

- (11) *Altu-a            da.*  
 tall-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS.be

MI: altu 「背が高い」という形容詞を補語とするコピュラ文.

「背の高い人」

- (12) *pertsona altu-a*  
 person tall-SG[ABS]

MI: 形容詞 altu 「背が高い」が名詞を修飾する構造.

## 2.8. 側面語のある表現 (4)

「あの人は背が 190 センチもある」

- (13) a. *Pertsona horr-ek            190 cm    d-it-u.*  
 person    that(MED)SG-ERG 190 cm[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]  
 b. *Pertsona horr-ek            190 cm-ko    altuer-a    d-u.*  
 person    that(MED)SG-ERG 190 cm-QUAL height-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (13a) は「190 cm を持っている」, (13b) は「190 cm の高さを持っている」. いずれも (1) と同様の所有文.

## 2.9. 側面語のある表現 (5)

「その石は四角い形をしている」

- (14) *Harri horr-ek forma karratu-a d-u.*  
stone that(MED)SG-ERG shape square-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「四角い (形の) 石」

- (15) a. *harri karratu-a*  
stone square-SG[ABS]  
「四角い石」  
b. *forma karratu-ko harri-a*  
shape square-QUAL stone-SG[ABS]  
「四角い形の石」

MI: (15a) は形容詞 *karratu* 「四角い」による修飾構造. (15b) は性質接辞.

## 2.10. 属性

「あの人には才能がある」

- (16) *Horr-ek talentu-a d-u.*  
that(MED)SG-ERG talent-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「才能のある人」

- (17) *Talentu-dun pertson-a*  
talent-PROP person-SG[ABS]

MI: (2) と同様の所有接辞による表現.

## 2.11. 一時的属性

「あの人は病いだ」

- (18) *Gaixo da-go.*  
sick PRS.3[SG]ABS-be.there

MI: 形容詞 *gaixo* 「病気の」によるコピュラ文. 一時的属性を表すコピュラ文では, 補語に数の接辞がつかず, コピュラに動詞 *egon* 「(場所に) いる, ある」が用いられるという特徴がある. このデータでは

egon には一貫して ‘be.there’ というグロスを付けている。

「あの人は熱がある」

(19) *Sukarr-a da-uka.*  
 fever-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-hold[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文だが、動詞に *eduki* が用いられている。この動詞は「つかむ、保持する」のような意味だが、スペイン諸方言では (1) の *izan* と同様の所有動詞として用いられる。使い分けは不明である。このデータでは *eduki* には一貫して ‘hold’ のグロスを付けた。

「病気の人」

(20) *pertsona gaixo-a*  
 person sick-SG[ABS]

MI: 形容詞 *gaixo* 「病気の」による修飾構造。

## 2.12. 衣服等 (1)

「あの人は青い服を着ている」

(21) *Har-k arropa urdin-ak d-it-u.*  
 that(DIST)SG-ERG clothes blue-PL[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文。

「青い服の男」

(22) a. *arropa urdin-dun gizon-a*  
 clothes blue-PROP man-SG[ABS]  
 b. *gizon arropa urdin-dun-a*  
 man clothes blue-PROP-SG[ABS]

MI: (2) と同様の所有接辞による表現。

## 2.13. 衣服等 (2)

「あの人はメガネをかけている」

(23) *Har-k betaurreko-ak d-it-u.*  
 that(DIST)SG-ERG glasses-PL[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文。

「メガネの男」

- (24) a. *gizon betaurreko-dun-a*  
 man glasses-PROP-SG[ABS]  
 b. *betaurreko-dun gizona*  
 glasses-PROP man-SG[ABS]

MI: (2) と同様の所有接辞による表現.

#### 2.14. 親族 (1)

「あの人には妻がいる」

- (25) *Horr-ek emazte-a da-uka.*  
 that(MED)SG-ERG wife-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-hold[3SG.ERG]

MI: (19) と同様に *eduki* を用いた所有文.

「既婚の人・妻のいる人」

- (26) a. *pertsona ezkon-du-a*  
 person marry-PFV-SG[ABS]  
 b. *emazte-a da-uka-n pertson-a*  
 wife-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]-REL person-SG[ABS]

MI: (26a) は動詞 *ezkondu* 「結婚する」の完了分詞による修飾構造。(26b) は *eduki* を述語とする所有文の関係節による修飾構造.

#### 2.15. 親族 (2)

「あの人には3人子供がいる」

- (27) *Horr-ek hiru ume d-it-u.*  
 that(MED)SG-ERG three child[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「3人の子持ちの人」

- (28) *hiru ume d-it-u-en pertson-a*  
 three child[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]-REL person-SG[ABS]

MI: (27) の所有文を関係節化したもの.

「妊娠している女性」

(29) *emakume haur-dun-a*  
woman child-PROP-SG[ABS]

MI: *haurdun* は名詞 *haur* 「子供」に所有接辞-*dun* がついたものだが、特に「妊娠した」の意味で用いられる。

## 2.16. 普遍的な事実

「タコには足が8本ある」

(30) *Olagarro-e-k 8 hanka d-it-u-zte.*  
octopus-PL-ERG eight leg[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have-3PL.ERG

MI: (1) と同様の所有文.

## 2.17. とともに無生物の所有（含有）

「その飲み物にはアルコールが入っている」

(31) *Edari horr-ek alkohol-a d-u.*  
drink that(MED)SG-ERG alcohol-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「アルコール入りの飲み物」

(32) *edari alkohol-dun-a*  
drink alcohol-PROP-SG[ABS]

MI: (2) と同様の所有接辞による表現.

## 2.18. 所有権

「あの人はお金を持っている」

(33) *Horr-ek diru-a da-uka.*  
that(MED)SG-ERG money-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-hold[3SG.ERG]

MI: (19) と同様の *eduki* を述語とする所有文.

「お金持ちの人」



(34) *pertsona diru-dun-a*  
person money-PROP-SG[ABS]

MI: 所有接辞による表現.

## 2.19. 有生物に対する所有権

「おまえのところには犬がいるか？」

(35) *Etxe-an txakurr-a da-uka-zue?*  
house[SG]-LOC dog-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have-2PL.ERG

MI: (19) と同様の *eduki* による所有文.

「犬のいる人」

(36) a. *pertsona txakur-dun-a*  
person dog-PROP-SG[ABS]  
b. *txakur bat-en jabe-a*  
dog IDEF.SG-PGEN owner-SG[ABS]  
「ある犬の飼い主」

C: (36a) はやや不自然に感じられる. (36b) は「犬の主」という意味である.

MI: (36a) は所有接辞による表現.

## 2.20. 一時的携帯 (自分のもの)

「おまえは (自分の) ペンを持っているか？」

(37) *Boligrafo-rik d-u-zu?*  
ballpoint-PRT PRS.3[SG]ABS-have-2SG.ERG

MI: (1) と同様の所有文.

「ペンを持っている人」

(38) *boligrafo-a da-uka-n pertson-a*  
ballpoint-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]-REL person-SG[ABS]

MI: *eduki* を述語とする所有文の関係節化.

## 2.21. 一時的携帯 (他人のもの)

「あの人は (誰か別の人の) ペンを持っている」

- (39) *Horr-ek (beste bat-en) boligrafo-a d-u.*  
 that(MED)SG-ERG ( other IDEF.SG-PGEN ) ballpoint-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

## 2.22. 抽象的・一時的所有物

「あの人は運がいい」

- (40) *Horr-ek zorte on-a d-u.*  
 that(MED)SG-ERG fortune good-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have[3SG.ERG]

MI: (1) と同様の所有文.

「幸運な人」

- (41) a. *zorte on-eko pertson-a*  
 fortune good-QUAL person-SG[ABS]  
 b. *zorion-eko pertson-a*  
 luck-QUAL person-SG[ABS]

MI: いずれも性質接辞による表現.

## 2.23. 恒常的存在>状態・性質

「ここは石が多い」

- (42) *Hemen harri asko da-go.*  
 here[LOC] stone many[ABS] PRS.3[SG]ABS-be.there

MI: 動詞 *egon* 「ある・いる」を用いた存在文.

「石の多い土地」

- (43) *eremu harritsu-a*  
 land stony-SG[ABS]

MI: 形容詞 *harritsu* 「石の多い」による修飾構造. 接尾辞 *-tsu* は名詞から「～の多い」という意味の形容詞を派生する.

「ここは雨が多い」

- (44) *Hemen euri asko egi-ten d-u.*  
 here[LOC] rain much[ABS] do-IPFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]

MI: 「ここではたくさん雨が降る」の意味.

「雨の多い土地」

(45) *eremu euritsu-a*  
land rainy-SG[ABS]

MI: 形容詞 *euritsu* 「雨の多い」による修飾構造. 接尾辞 *-tsu* は名詞から「～の多い」という意味の形容詞を派生する.

## 2.24. 非恒常的存在と数量

「その部屋には椅子が3つある」

(46) *Gela horr-etan hiru aulki da-u-de.*  
room that(MED)SG-LOC three chair[ABS] PRS.3.ABS-be.there-PL.ABS

MI: 動詞 *egon* を述語とする存在文.

「3つ椅子のある部屋」

(47) *hiru aulki d-it-u-en gel-a*  
three chair[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have[3SG.ERG]-REL room-SG[ABS]

MI: 所有文の関係節化.

## 2.25. 存在 (存在が新情報)

「テーブルの上にスプーンがある」

(48) *Mahai gain-ean goilar-a da-go.*  
table top[SG]-LOC spoon-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-be.there

MI: 動詞 *egon* による存在文. 存在物を表す名詞句 *goilara* が動詞の直前の焦点位置に置かれている.

「スプーンのあるテーブル」

(49) *goilara da-uka-n mahai-a*  
spoon-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-hold[3SG.ERG]-RELtable-SG[ABS]

MI: 動詞 *eduki* による所有文の関係節化.

## 2.26. 所在（場所が新情報）

「そのスプーンはテーブルの上にある」

- (50) *Goilara hori mahai gain-ean da-go.*  
 spoon that(MED)[SG.ABS] table top[SG]-LOC PRS.3[SG]ABS-be.there

MI: 動詞 *egon* による存在文。場所を表す *mahai gainean* が動詞の直前の焦点位置にある。

「テーブルにあるスプーン」

- (51) *mahai gain-ean da-go-en goilar-a*  
 table top[SG]-LOC PRS.3[SG]ABS-be.there-REL spoon-SG[ABS]

MI: 存在文の関係節化。

## 2.27. 所有物・属格のプロトタイプ

「そのペンは私のだ」

- (52) *Boligrafo hori ni-re-a da.*  
 ballpoint that(MED)[SG.ABS] 1SG-PGEN-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS.be

MI: *nirea* は、一人称代名詞 *ni* の属格形 *nire* に数の接辞（定冠詞）*-a* が付いたもので、名詞句を構成する。

「そのペンは太郎のだ」

- (53) *Boligrafo hori Taro-ren-a da.*  
 ballpoint that(MED)[SG.ABS] Taro-PGEN-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS.be

MI: *Tarorena* は、(52) の *nirea* と同じく、属格名詞句に数の接辞 *-a* が付いたもの。

「私のペン」

- (54) *ni-re boligrafo-a*  
 1SG-PGEN ballpoint-SG[ABS]

「太郎のペン」

- (55) *Taro-ren boligrafo-a*  
 Taro-PGEN ballpoint-SG[ABS]

## 2.28. できごとの生起

「昨日, 学校で火事があった」

- (56) *Atzo sute-a egon z-en eskol-an.*  
 yesterday fire-SG[ABS] be.there.PFV PST.3[SG]ABS.INTR-PST school[SG]-LOC

MI: 動詞 *egon* による存在文.

「私は明日用事があります」

- (57) *Ni-k zeregin-ak d-it-u-t bihar.*  
 1SG-ERG task-PL[ABS] PRS.3.ABS-PL.ABS-have-1SG.ERG tomorrow

MI: (1) と同様の所有文.

## 2.29. 実在文

「(この世には) お化けなんていない」

- (58) a. (*Mundu hon-etan*) *ez da-go mamu-rik.*  
 ( world this[SG]-LOC ) NEG PRS.3[SG]ABS-be.there ghost-PRT  
 b. (*Mundu hon-etan*) *mamu-rik ez da.*  
 ( world this[SG]-LOC ) ghost-PRT NEG PRS.3[SG]ABS.be  
 c. *Mamu-ak ez d-ira existi-tzen.*  
 ghost-PL.ABS NEG PRS.3.ABS-PL.ABS.INTR exist-IPFV

MI: (58a) は動詞 *egon* を用いた通常の存在文. (58b) では述語に自動詞 *izan* が用いられている. *izan* は通常は個体レベルのコピュラ文に用いられる. (58c) は動詞 *existitu* 「存在する」が用いられている. (58a-b) では主語名詞句が分格で, 不定名詞句であるのに対して, (58c) では絶対格形の総称名詞句であるのも興味深い.

## 2.30. 絶対存在文 (1)

「(そこには) 英語を話す人もいるが, 話さない人もいる」

- (59) a. (*Hor*) *ingeles-ez da-ki-en-ik ba=da-go ere,*  
 ( there(MED)[LOC] ) English-INST PRS.3[SG]ABS-know[3SG.ERG]-REL-PRT AFF=PRS.3[SG]ABS-be.there also  
*ez da-ki-en-ik ere ba=da-go.*  
 NEG PRS.3[SG]ABS-know[3SG.ERG]-REL-PRT also AFF=PRS.3[SG]ABS-be.there  
 「そこには英語を解する人もいるし, 解さない人もいる」  
 b. (*Hor*) *ba=da ingeles-ez da-ki-en-ik*  
 ( there(MED)[LOC] ) AFF=PRS.3[SG]ABS.be English-INST PRS.3[SG]ABS-know[3SG.ERG]-REL-PRT  
*eta ez da-ki-en-ik.*  
 and NEG PRS.3[SG]ABS-know[3SG.ERG]-REL-PRT

「そこには英語を解する人と解さない人がいる」

c. *Ingeles-ez da-ki-te-n-ak*

English-INST PRS.3[SG]ABS-know-3PL.ERG-REL-PL.ABS

*eta ez da-ki-te-n-ak*

*da-u-de*

*hor:*

and NEG PRS.3[SG]ABS-know-3PL.ERG-REL-PL.ABS PRS.3.ABS-be.there-PL.ABS there(MED)[LOC]

「そこには英語を解する人と解さない人がいる」

MI: すべて存在文である。(59a) と (59b) はいずれも肯定助詞 *ba* が動詞に付加されており、文焦点となっている。(59c) は存在物が焦点位置にある。前二者では分格名詞句が、後者では絶対格名詞句が用いられている。(59a, c) は *egon*, (59b) は *izan* が主動詞である。

### 2.31. 絶対存在文 (2)

「私より英語ができる人は (ほかに/もっと) います」

(60) *Ba=da-u-de*

AFF=PRS.3.ABS-be.there-PL.ABS

*ni-k baino hobeto ingeles-ez da-ki-te-n-ak.*

1SG-ERG than well.CMPR English-INST PRS.3[SG]ABS-know-3PL.ERG-REL-PL.ABS

MI: 動詞 *egon* による文焦点の存在文で、主語は絶対格名詞句である。

### 2.32. 抽象的なことの所有・発話内効力のある文

「ちょっとあなたにお願いがあります」

(61) *Zerbait eska-tu behar d-i-zu-t.*

something ask-INF need-INF PRS.3[SG]ABS-have.DAT-2SG-1SG.ERG

MI: 「あなたに何か頼まなければなりません」という意味。存在の意味は代名詞 *zerbait* が担っている。

### 2.33. 時間・場所

「冬の雨」

(62) *negu-ko euri-a*

winter[SG]-LGEN rain-SG[ABS]

「東京の家」

(63) *Tokio-ko etxe-a*

Tokyo-LGEN house-SG[ABS]

MI: いずれも位置属格-*ko* が使われている。位置属格は位置格-*an* の連体形に相当する。

### 2.34. 行為主体・行為対象・生産物

「彼の泳ぎ」

- (64) *har-en igeri-a*  
that(DIST)SG-PGEN swim-SG[ABS]

「犬の鳴き声」

- (65) *Txakurr-a-ren zaunk-a*  
dog-SG[ABS]-PGEN bark-SG[ABS]

「火山の爆発」

- (66) *sumendi-a-ren burrunb-a*  
volcano-SG[ABS]-PGEN explosion-SG[ABS]

「車の運転」

- (67) *gida-tze-a*  
drive-GER-SG[ABS]

「～の小説」

- (68) a. *Anderr-en liburu-a*  
Ander-PGEN book-SG[ABS]  
「アンデルの本」  
b. *Anderr-ek idatz-i-ta-ko liburu-a*  
Ander-ERG write-PFV-RES-ADN book-SG[ABS]  
「アンデルが書いた本」

MI: ほぼすべて所有属格-en が用いられている。ただし, (67) は *gidatu* が「車を運転する」の意味であるために, 車を表す名詞句は表現されていない。また, (68b) は完了分詞から派生した結果状態を表す非定形連体修飾節が用いられている。

### 2.35. 親族・場所名詞・時間的關係

「Xさん(固有名詞)のお母さん」

- (69) *Anderr-en ama*  
Ander-PGEN mother[ABS]

「机の横に」

(70) *mahai-a-ren albo-an*  
table-SG-PGEN side[SG]-LOC

「机の前に」

(71) *mahai-a-ren aurre-an*  
table-SG-PGEN front[SG]-LOC

MI: いずれも所有属格が用いられている。なお、(70–71) は位置格-an が使われており、「机の横／前に (ある・いる)」の意味である。

「\*机に (来て!)」

(72) *Mahai-ra (etor za-i-te-z!)*  
table[SG]-ALL (come 2[SG]ABS-NIND.INTR-PL.ABS[IMP])

MI: 無生名詞句にはこのように直接場所格類を付加することが可能である。有生名詞句は (73) のように有標となる。

(73) *Maddi-ren-gana (etor za-i-tez!)*  
Maddi-PGEN-ANIM.ALL (come 2[SG]ABS-NIND.INTR-PL.ABS[IMP])  
「マディのところに来て!」

「あの人の次」

(74) *Horr-en hurrengo-a*  
that(MED)SG-PGEN next-SG[ABS]

MI: 所有属格が用いられている。

## 2.36. 被所有物の性質

### 2.36.1. 種別

「バラの花びら」

(75) *arros-a-ren hosto-ak*  
rose-SG-PGEN petal-PL.ABS

MI: 所有属格である。

### 2.36.2. 用途

「果物のナイフ」



(76) *fruta-rako aizto-a*  
fruit[SG]-PUR.ADN knife-SG[ABS]

MI: 目的を表す-rako が用いられている。

### 2.36.3. 材料・材質

「紙の飛行機」

(77) *paper-ez-ko hegazkin-a*  
paper-INST-ADN airplane-SG[ABS]

MI: 材質を表す具格の連体形。

### 2.36.4. 内容

「チューリップの絵」

(78) *tulipa batzu-en kuadro-a*  
tulip some-PL.PGEN painting-SG[ABS]

MI: 所有属格。

### 2.36.5. 産出物

「花の匂い」

(79) *lore-en usain-a*  
flower-PL.PGEN smell-SG[ABS]

MI: 所有属格。

### 2.36.6. 表現形式

「英文の手紙」

(80) *ingeles-ez-ko gutun-a*  
English-INST-ADN letter-SG[ABS]

MI: 言語を表す具格の連体形。

### 2.36.7. 職種

「日本語の先生」

(81) *japoniera irakasle-a*

Japanese teacher-SG[ABS]

MI: 名詞複合.

### 2.36.8. 取得源

「井戸の水」

(82) *putzu-ko ur-a*

well[SG]-LGEN water-SG[ABS]

MI: 位置属格.

### 2.36.9. 種別

「雨の日」

(83) *egun euritsu-a*

day rainy-SG[ABS]

MI: euritsu 「雨降りの」という意味の形容詞.

### 2.37. 同格

「妹の花子」

(84) *ni-re arreba Hanako*

1SG-PGEN sister Hanako[ABS]

MI: nire arreba 「私の妹」と Hanako の同格構造.

「社長の田中さん」

(85) *ni-ri[sic] buruzagi Tanaka*

1SG-PGEN boss Tanaka[ABS]

MI: niri は明らかに nire の誤りと考えられる. nire buruzagi 「私の上司」と Tanaka の同格構造.

### 2.38. 属格の連続使用

「となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって)」

(86) a. *auzo-ko lagun-a-ren aita-ren kotxe-ko gurpil-ak*

neighbor[SG]-LGEN friend-SG-PGEN father-PGEN car[SG]-LGEN tire-PL.ABS

b. *auzo-ko*            *lagun-a-ren*    *aita-ren*    *kotxe-a-ren*    *gurpil-ak*  
neighbor[SG]-LGEN friend-SG-PGEN father-PGEN car-SG-LGEN tire-PL.ABS

MI: 位置属格-ko と所有属格-en が連続して用いられている.

#### 参考文献

de Rijk, Rudolf P. G. 2006. *Standard Basque: a progressive grammar*. Cambridge, MA: The MIT Press.  
石塚政行. 2022. 「変則的二項述語文としての所有文: バスク語の所有コピュラ文」『日本エドワード・サピア協会研究年報』 36: 27–39.

執筆者連絡先 : [ishizuka@go.tuat.ac.jp](mailto:ishizuka@go.tuat.ac.jp), [yoshinari.kanae.t0@tufs.ac.jp](mailto:yoshinari.kanae.t0@tufs.ac.jp)

原稿受理 : 2024 年 2 月 1 日